

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5880m付近の正渦度極大域に対応した前線が日本海から北陸地方を通り、日本の東へのびている。東日本を中心に、前線近傍で非常に激しい雨を解析し、発雷を多数検知。東日本で竜巻注意情報を発表。佐渡沖の低気圧が、ゆっくり南下。
- ② 東シナ海の高気圧がゆっくり北へ移動。高気圧が東～西日本を覆い、晴れる地域が広がり、西日本から東海地方を中心に、猛暑日の所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の前線は、27日朝にかけて日本の東へ進み、27日朝までに前

線上に低気圧が発生し、28日朝にかけて日本のはるか東へ進み、前線は次第に本州から遠ざかる。26日夜までに千島近海で高気圧が発生し、高気圧の縁辺を回る東風が北日本太平洋側を中心に入りやすくなる。1項②の東シナ海の高気圧は、27日にかけて日本付近へ張り出し、西日本から東海地方を中心に猛暑日となる地点が広がり、熱中症による人の健康に係る被害が生ずるおそれがある。500hPa 5820m付近で正渦度極大域が持続的に北～東日本を通過し、500hPaで-6℃以下の寒気が北～西日本に広がる。1項①の低気圧は、27日夜にかけて北陸地方へ進み、その後、不明瞭化。前線に向かう下層暖湿気と地上の昇温、上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う非常に激しい雨の降る所がある。北陸地方と東北地方では26日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の氾濫に厳重に警戒。北～東日本では27日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒・注意。全国的に27日にかけて、落雷、突風、降ひょうに注意し、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。前線近傍で強い風が吹き、波が高くなる所がある。東北地方では27日にかけて、強風、高波に注意。

② 28日は、2項①の東シナ海の高気圧が引き続き張り出し、西日本を中心に晴れて昇温し、猛暑日となる所がある。引き続き、28日は、500hPa 5820m付近の正渦度極大域が北～東日本を通過し、上空には寒気が広がる。28日朝までに日本海で低気圧が発生し、夜にかけて西日本日本海側沿岸付近へ進む。低気圧に向かう下層暖湿気、地上の昇温、上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴う激しい雨の降る所がある。北～東日本では28日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意し、警報級の大雨に留意。北～西日本では28日は、落雷、突風、降ひょう、局地的な激しい雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本とする。量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。2項①の前線や低気圧の位置や降水の予想には不確実性があることに留意。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量（18時からの24時間）：北陸120、関東甲信・東海100mm。② 波浪（明日まで）：東北3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 全般気象解説情報（大雨・落雷・突風）を17時頃発表予定。



主要じょう乱解説図